

「誰か×誰か」「誰か×何か」の組み合わせが面白い。

## なぞかけ × 昔話

『どうしてかわかる?』  
ジョージ・シャノン/文 晶文社



中村桂子/文  
福音館書店

## NDCを知って図書館を有効活用!

豊かなオペレータたちの日常は必見です。(竹原)

## クイズにこたえて、図書館でプレゼントをもらおう。

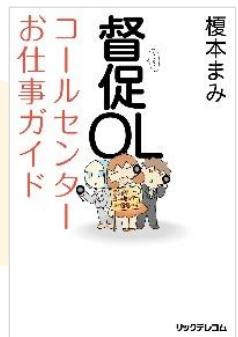
もんだい: あおのすけのリュックの色は?

① 黄と緑 ② 赤と青 ③ 白と桃

こたえ: \_\_\_\_\_

Vol.6

What's  
NDC



『督促OL コールセンターお仕事ガイド』  
榎本まみ/著 リックテレコム

世界各國に伝わる昔話。その中からなぞかけ要素のあるお話を集めたのが本書です。大量の造花の中から本物の花を見分ける方法、泥棒をあぶり出す方法…。

裏表紙に書かれた対象年齢は「10歳以上」。やよい図書館でも児童コーナーに置かれている資料ですが、これがまた意外と難しい! 渋い点描画とお洒落な装丁も、物語を一層輝かせます。(新井)



## みんなで考えよう、環境のこと。

私たち人間は生きものですね?

「庭にいるアリと私たち人間は仲間です」

そんな中村先生の話しかけから始まるこの絵本は地球のすべての生きもの(人間も、動物や草や木も、細菌など)がはじまりはひとつの大切さ」をわかりやすく教えてくれます。

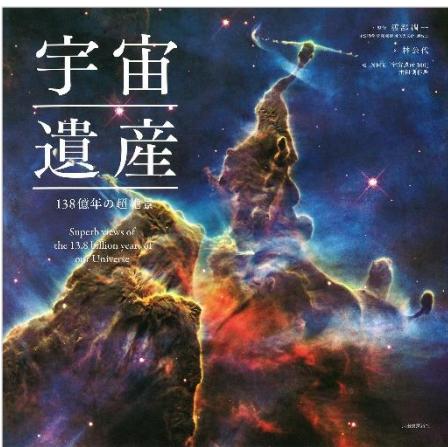
夏休みの自由研究にもオススメですよ。あだち再生館の図書コーナーに置いてありますので、ぜひどうぞ。

「NDCの「6」は、農業や商業、運輸などの「産業」に関する本が分類されています。紹介する本は『督促OL コールセンターお仕事ガイド』。コールセンターと聞けば、皆さんどのよくな場所を想像されるでしょうか。単にクレーム対応をしている場所というわけではありません。本書で「遠く離れたお客様と、心を通わせる不思議な職場」と表されるようになつらいだけではないコールセンターの魅力が語られています。

驚きの内容で電話をかけるお客様。それに負けじと奮闘する、個性

です。(竹原)

館長が紹介する  
「印象に残った1文」とは?



『宇宙遺産 138億年の超絶景』  
渡部潤一/監修 河出書房新社



「宇宙を探ることによって、我々人類が常に自分中心の考え方から脱却してきた歴史そのもの」

手紙には相手や自分の真心が伝わる魅力があります。かといって正式な手紙を書いてみると、ややこしいのもまた事実。そんな時には一筆箋を書いてみるのはどうでしょうか。決まりことはなく、文字通り何かに一筆添えるだけ。それだけで相手に伝わる思いはグンと増します。(生盛)

『1分で心をつかむ  
魔法の一筆箋』

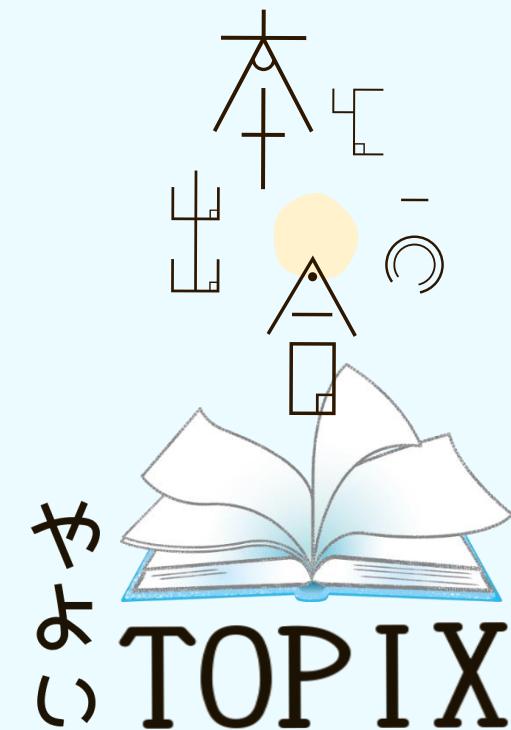
亀井ゆかり/監修 PHP研究所

こんな本もありますよ



『I love letter』  
あさのあつこ/著 文藝春秋

『夏目漱石の手紙に学ぶ 伝える工夫』  
中川越/著 マガジンハウス



大型図書は重くて持ち運びが大変なのですが、写真集や図版などはやはり大きな画面でその迫力を味わっていただきたいもの。今回の『宇宙遺産 138億年の超絶景』も、そんな美しい写真集の一つです。この本には、どこか一つの施設が選んだ写真ではなく、NASAをはじめとする8つの研究機関がそれぞれ厳選した10枚の写真が載っています。研究機関によって、惑星の写真であったり、宇宙から見た地球の姿であったりと、様々な視点から宇宙を捉えることができます。宇宙を知り、地球を知るのに最適の一冊です。(丸山)

7月23日は「文月ふみの日」。郵政省によって、毎月23日は「ふ(2)み(3)の日」と制定されていますが、7月は旧暦の別称が「文月」ということで、記念日の名前が「文月ふみの日」とちょうど特別です。

そんな特別にあやかって、今回のテーマは「手紙」。誰かに手紙を送つたり、昔の手紙を読み返したりしてはいかがでしょう。

7月23日は「文月ふみの日」。郵政省によって、毎月23日は「ふ(2)み(3)の日」と制定されていますが、7月は旧暦の別称が「文月」ということで、記念日の名前が「文月ふみの日」とちょうど特別です。